

堺 アルフォンス・ミュシャ館 企画展「ミュシャ館の舞台裏」を開催します

堺 アルフォンス・ミュシャ館では、企画展「ミュシャ館の舞台裏」を以下のとおり開催します。

堺 アルフォンス・ミュシャ館はアール・ヌーヴォーを代表する芸術家アルフォンス・ミュシャ（1860-1939）の初期から晩年までの豊富なコレクションを所蔵しており、年3回の企画展を通じて、毎回テーマと作品を変えて違った視点でミュシャの作品を紹介しています。

本展では、堺 アルフォンス・ミュシャ館を例に美術館の仕事に注目し、その裏側に光を当て、あなたの知らない堺 アルフォンス・ミュシャ館の舞台裏をお楽しみいただけます。

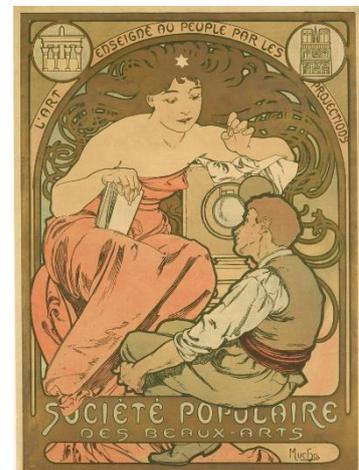
1 企画展概要

展示会名	ミュシャ館の舞台裏
日時	令和6年12月7日（土）～令和7年4月9日（水） 開館：午前9時30分～午後5時15分（入館は午後4時30分まで）
休館日	月曜日、休日の翌平日 ※詳細な日程は、別紙をご覧ください。
場所	堺 アルフォンス・ミュシャ館（堺市立文化館） （堺市堺区田出井町1-2-200 ベルマージュ堺式番館）最寄駅：JR 阪和線「堺市」駅
観覧料	一般 510 円（410 円）、高校・大学生 310 円（250 円）、小・中学生 100 円（80 円） *（ ）は 20 人以上 100 人未満の団体料金

※見どころや展示構成、関連イベントなど詳細については、別紙をご覧ください。

2 アルフォンス・ミュシャ

- ・19世紀末のパリで一躍人気のポスター作家として才能を開花させたアルフォンス・ミュシャ（1860-1939）は、芸術様式アール・ヌーヴォーを代表する画家として広く知られています。
- ・ミュシャのポスター作家としての成功は、稀代の女優サラ・ベルナル（1844-1923）との出会いにより、彼の名がパリ中に広まったことがきっかけです。
- ・1900年のパリ万国博覧会への出展を経て、後年には祖国チェコへの芸術的貢献を願い、大連作《スラヴ叙事詩》をはじめ、チェコの独立と平和を願った油彩画などを制作しました。



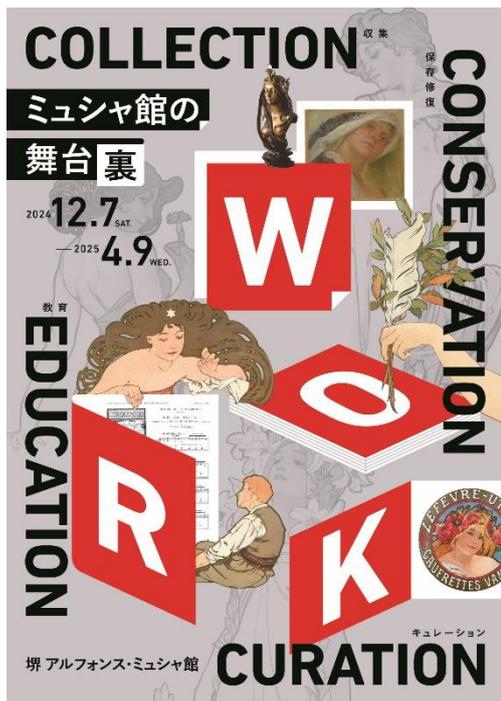
アルフォンス・ミュシャ《民衆美術協会》

1897年 リトグラフ、紙 堺 アルフォンス・ミュシャ館（堺市）蔵

3 堺市とミュシャの関係

- ・堺 アルフォンス・ミュシャ館が所蔵するミュシャとその関連作家の作品約 520 点は株式会社ドイの創業者、土居君雄氏（1926-1990）の収集を基にしたものです。土居氏の没後に遺族によって堺市に寄贈されました。
- ・コレクションは、ミュシャのポスターや油彩画、素描や宝飾品など、世界有数を誇る体系的な作品で構成されています。
- ・堺 アルフォンス・ミュシャ館では、ミュシャの初期から晩年期にまでわたる作品を展示し、様々なテーマでその創作活動を紹介しています。
- ・また、堺で生まれ育った情熱の歌人・与謝野晶子は、明治浪漫主義の文芸誌『明星』で活躍しました。『明星』の誌面では、ミュシャは「ムッカ氏」という名前で紹介されており、ミュシャの作品を思わせる挿絵が日本人画家によって描かれています。ミュシャは堺市にとって大変縁のある画家と言えます。

問 い 合 わ せ 先	（企画展に関すること）
	担 当：公益財団法人堺市文化振興財団 堺 アルフォンス・ミュシャ館（堺市立文化館） 電 話：072-222-7227 ファックス：072-222-6116
	（本市の文化振興に関すること）
	担 当 課：文化観光局 文化国際部 文化課 電 話：072-228-7143 ファックス：072-228-8174



ミュシャ館の

舞台裏

2024年12月7日（土）— 2025年4月9日（水）

ミュシャの専門ミュージアム
美術館の仕事を徹底解剖!?

概要

堺 アルフォンス・ミュシャ館はアール・ヌーヴォーを代表する芸術家アルフォンス・ミュシャ（1860-1939）の初期から晩年までの豊富なコレクションを所蔵しています。年3回の企画展を通じて、毎回テーマと作品を変えて違った視点でミュシャの作品をご紹介します。本展では当館の多彩なコレクションを紹介しつつ、当館を例に美術館の仕事に注目し、その裏側に光を当てます。あなたの知らないミュシャ館の舞台裏を覗いてみませんか。

展覧会名 企画展「ミュシャ館の舞台裏」

会期 2024年12月7日（土）から2025年4月9日（水）まで

会場 堺 アルフォンス・ミュシャ館（堺市立文化館）

開館時間 午前9時30分から午後5時15分（入館は午後4時30分まで）

休館日 月曜日、年末年始（12月29日～2025年1月3日）、休日の翌日（2025年1月14日・2月12日・2月25日）*ただし2025年1月13日・2月10日・2月11日・2月24日・3月20日・3月21日は開館

主催 一般510円(410円)、高校・大学生310円(250円)、小・中学生100円(80円)
*()は20人以上100人未満の団体料金

観覧料 公益財団法人堺市文化振興財団、堺 アルフォンス・ミュシャ館

後援 在堺チェコ共和国名誉領事館

協力 (株) ドイ文化事業室、OGATAコレクション

お問合せ 堺 アルフォンス・ミュシャ館（堺市立文化館） 担当：川口、原田、高原
〒590-0014 大阪府堺市堺区田出井町1-2-200 ベルマージュ堺式番館
TEL) 072-222-7227 FAX) 072-222-6116
E-mail) mucha@sakai-bunshin.com <https://mucha.sakai-bunshin.com> HP▶

展示構成

①収集 -COLLECTION-

ミュシャ館の成り立ちや歴史、そして当館が誇る世界有数の多様なミュシャ・コレクションの数々をご紹介します。

②保存修復 -CONSERVATION-

100年後、1000年後にもミュシャの魅力を伝えたいー作品の劣化を最小限におさえ、現在の状態を保つための照明、温度、湿度の適切な展示や保存環境、損傷した作品のチェックや修復についてをご紹介します。

③教育 -EDUCATION-

ミュシャ館は堺市内で唯一の美術館。子どもたちが芸術に触れるきっかけづくりも行っています。子ども向けの解説や、レプリカや鑑賞ツールを使った学校への出前授業のプログラムについてもご紹介します。

④キュレーション -CURATION-

ミュシャ館で実施した過去10年の企画展ポスターを一挙に展示。多彩なコンセプトからなる展覧会の軌跡を振り返ります。

体験

キュレーション体験コーナー
「ミュシャ展をつくってみよう」

展示室内にミニチュア・ミュシャ館が出現！
あなたならどの作品をどんなテーマで展示しますか？
学芸員になったつもりで展覧会作りを体験できます。



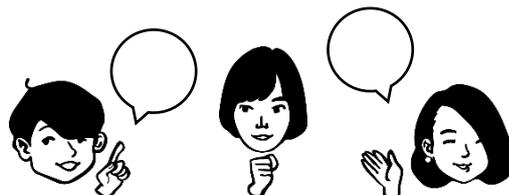
※画像はイメージです。

関連
イベント

【1】トーク・イベントー学芸員に聞いてみよう

来館者から寄せられたミュシャ館についての質問に、学芸員たちがトーク・イベントを通じてお答えします。

日 時：2024年12月15日（日）14：00～（1時間程度）
定 員：60名（申込不要、先着順）
対 象：どなたでも
参加費：無料



【2】ミュシャ・コレクションの収集秘話

ミュシャ館のコレクションの前身であるドイコレクションの収集に携わった尾形寿行氏に当館コレクションの収集の舞台裏についてお話いただきます。

講 師：尾形寿行氏（OGATAコレクション所蔵者）
日 時：2025年1月11日（土）14：00～（1時間30分程度）
定 員：60名（申込不要、先着順）
対 象：どなたでも
参加費：無料

※イベントの参加には、本展会期中の鑑賞券(半券可)の提示が必要です。
※別途「学芸員による解説ツアー」も実施予定。
※イベント詳細については当館HPをご確認ください。
※ホームページは随時更新します。

